

山田中学校・東兎中学校再編準備委員会 第3回学校運営部会 会議録（要点筆記）

■ 日 時 令和8年1月20日（水）14：30～16：30

■ 場 所 東兎中学校校長室

■ 出席者 ○部会委員

大山都部会長 入口大志副部会長

松岡栄治委員 下浦秀久委員 山本孝司委員

石原路子委員

○事務局

学校再編推進課参事 清山智保

■ 傍聴者 ー

1 開会

2 議事（要綱第8条に基づき、大山部会長が議事進行を行う。）

（1）進捗状況の確認等

部会長： 前回の会議後の進捗状況について確認する。

事務局： 令和8年度当初予算で、統合前の交流・行事の実施等に必要なバス借上料を要求している。交流授業用として2回分、バス通生徒の体験乗車用として2回分の予算を措置している。交流活動としては、3回程度実施することを想定しているが、そのうち1回は体験乗車と兼ねて実施してもらいたい。

部会長： 初回は午前中だけ東兎中で過ごす、2回目は山田中から出発して東兎中で1日過ごしてもらい山田中へ帰る、3回目は朝の登校から路線バスに乗って来てもらって、東兎中で1日過ごしてそのまま帰宅してもらおうパターンにしたい。必要に応じて、乗車体験のみをもう1回追加したらいいのではないかな。

委員： 3回目を実施する時期はいつにするか検討が必要である。出来れば暑い時期は避けた方がいいのではないかなと思う。

部会長： 3回目は、3学期がいいのではないかなと考えている。1回目は1学期にしますか。1学期はそれぞれの学校のことで精一杯ではないかな。

委員： そうだと思う。

部会長： 1回目は2学期に実施して、2回目、3回目を3学期に実施するのはどうか。3回目は、3年生の卒業後に実施したらどうだろうか。

委員： それでよいと思う。

事務局： その他、小学生が参加するオープンスクールについても小学校から中学校までの移動手段としてバス借上の予算を措置している。

部会長： 市のマイクロバスが使えないと聞いて心配していたのでよかった。令和8年度はオープンスクールは2月19日（金）に実施予定である。

事務局： 承知した。

(2) 閉校式について

部会長： 前回の会議後の進捗状況について確認する。

事務局： まず、閉校式について、協議をお願いしたい。昨日、宇野・玉・日比中学校の学校運営部会を開催した。その中で、合同閉校式の日程として、2学期の終業式の後、給食後に式典を開催する案が出ている。12月24日（木）の開催はどうか。

部会長： 給食を食べる時間があるだろうか。式典終了後、学校まで帰ってくる時間がどのくらいになるか。学校から会場まで距離があることを考慮してもらいたい。

委員： 秋に実施した芸術文化鑑賞の時は、13時30分から14時30分まで会場にいて、15時くらいには学校に帰ってきていた。歴史ある学校を閉校するので、教員が多少無理するのは仕方ない。

部会長： 給食を前倒しすると、13時出発が最速である。

事務局： 14時から開始して、1時間程度の式典で、16時までには学校に帰ってこれるだろう。

委員： その日以外でよい日程はあるか。

事務局： 11月中旬という案もあるが、行事が色々ある。

部会長： 授業時数も厳しいところがあるので、終業式の後であれば、その点もクリアするので、その日程でよいのではないか。

委員： 芸術文化鑑賞会の時の行程が参考になるのではないか。13時30分に到着していたが、かなり間があったと思う。配車時間を調整してもらって、全校給食が食べられる時間で調整してもらいたい。

(3) その他

部会長： その他に何かあるか。

事務局： メモリアルスペースについて、公的に保管する物品（校旗、表彰関係、卒業アルバムなど）をリストアップしてもらいたい。4月末ごろまでに作成をお願いする。

部会長： 令和9年度からの部活動について協議したいと思う。

現時点では、野球部、卓球部、ソフトテニス部、総合文化部という話をしている。令和9年度から廃止する部活動もある。東兎中には今バレー部があるが、令和8年度までだということを周知する必要があると考えている。東兎中としては、総合文化部について把握できていないが、どんな状況か。

委員： 現時点では、入部する生徒がいらないのではないか。

部会長： そうであれば、文化部を作るかどうか検討する必要がある。東兎中は文化部がない。文化部を求める声も出ていない。

委員： 東兎中にも数年前まで総合文化部はあったが、希望者がいなくなったので廃部になった。

委員： 普通の規定で考えると、何年間か希望者がいなければ、募集停止して廃部

になる流れではないか。今そうなっているのではないか。もし両中学校に在籍している生徒が、玉野東中学校になったときに総合文化部に入部しているのであれば、立ち上げておく必要があると思うが、それ以降は募集停止して、その生徒が引退して卒業したら廃部するのが一般的な考え方である。

委員： 教職員の中からも文化部を設置してもらいたいという声があったことも理由の一つである。これまでは毎年ニーズがあった。今年度はいなかった。

事務局： 初めから作っておく必要があるか。何人か希望者が集まって要望があったら作るということはできないのか。

委員： そういう動きができる生徒がいればよいが。

委員： どうしても文化部系の部活動がやりたい生徒は、指定学校変更制度を活用することもできる。

部会長： 今の小6や小5の児童にも示しておく必要があるため、どうするかは決めておく必要がある。

委員： 現状で入部する生徒がいらない可能性が高いため、最初から作る必要はないと考える。そういう声があったときに改めて検討することにより。教職員にもそういう方向で伝える。

部会長： それでは、スタートは野球部、卓球部、ソフトテニス部の3つとしてよいのか。

(一同異議なし)

3 閉会